

【卒後研修の感想】

地域研修報告

北野病院2年次初期研修医 鈴 井 陸

いつも大変お世話になっております。今回、北区医師会会誌への寄稿という機会を頂戴し大変恐縮しております。新型コロナウイルス感染症の対応で御多忙の中、今年度も地域研修を受け入れて頂き、先生方やスタッフの皆様方に心より感謝申し上げますとともに、研修内容についてご報告させていただきます。

当院の地域研修プログラムは、1ヶ月間、曜日ごとに異なる診療所で研修するものとなっております。私は2021年5月に北区を中心とした計5カ所のクリニックで研修を受けさせていただきました。北区では、大原クリニック、センプククリニック、福効医院であり、旭区は森小路清水会クリニック、淀川区は中川整形外科クリニックでした。

研修内容は、主に外来診療の見学や処置の介助、及び患者さんのご自宅への訪問診療や訪問リハビリ等も経験させて頂きました。診療科や地域性など施設ごとに様々な特色があり、いつも急性期病院で行う研修とは異なる、地域に暮らす人々の長期

的な健康を維持することを考慮した研修であり、とても貴重な経験を得ることができました。特に印象に残っていることは、訪問診療で、実際に自分で診察から処方まで行わせていただいたことでした。あらかじめカルテで経過をまとめてはいたしましたが、問診と診察だけでその場で治療方針を考えるのは非常に難しいものでした。見学させていただいた外来診療でも、超音波、レントゲン、心電図など、その場で画像を見ながら、丁寧な問診と身体所見等を駆使して診断・治療方針を決定されていた先生方の姿は、日頃血液検査やCTに頼りがちな自分の診療を見直すきっかけにもなりました。

私が地域研修を行った5月は、コロナワクチンの接種券が医療者以外にも届き、徐々に接種が始まっていく月でした。北野病院での研修中に救急外来でPCR検査を行ったり重症度から入院の適応を考えたりすることはありましたが、訪問診療や外来でワクチン接種についての情報を患者さんに伝えたり、軽症で自宅待機になった患者さんの処方などをどうするか考えたりすることはありませんでした。クリニックを休診してワクチン接種会場で働く日程を調整されている先生方の大変な様子などを目の当たりにし、実際に話を聞いたのは本当に貴重な経験であり、国試での勉強以来遠ざかっていた公衆衛生の重要性を強く意識させられるものでした。

今回の地域医療研修では、2次医療施設である急性期病院で

普段行う研修では中々意識することのできない、継続して診察する地域医療と、予防医学を含む公衆衛生の重要性を実感するものとなりました。この経験を活かして、今後の医師としての人生を送っていきたいと思います。

最後にはなりましたが、このような貴重な研修の機会を与えてくださりましたこと、心より感謝申し上げます。ご縁がありましたら、今後とも御指導御鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

地域研修報告

住友病院 岩本真佳

住友病院初期研修医2年の岩本真佳と申します。この度初期臨床研修プログラムの一環として大阪市北区医師会の開業医の先生方のもとで研修をさせて頂きました。

これまで急性期病院にて主に入院患者さんに対応してきたこともあり、外来診療をメインに研修したのは今回が初めてでした。4カ所のクリニックにて研修させて頂きましたが、それぞれ診療スタイル、患者さんとの関わり方があり、多岐にわたる疾患を経験できとても充実した1ヶ月でした。

外来診療において患者さんの日常生活やADLは様々であり、ガイドラインや画一的な対応、診療では患者さんのためにはならない事を実感し、個別の症例によりそった診療やサポートが必要であると実感致しました。

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっており、普段通りの診療が難しい中研修を受け入れて頂いた先生方にはこの場をお借りして御礼申し上げます。